3 未使用時について

- ふたA･ふたＢを閉じます。

> ⚠ **注意**
> ・ 未使用時は必ずふたを閉じてください。
> ・ ふたが開いた状態では足をひっかけたり、つまずくなどして危険です。

お手入れ

- ふたA･ふたBを開けて装置内のほこり･異物などを掃除機等で定期的に取り除いてください。
- 装置の汚れは硬くしぼった雑きん等で水拭きしてください。

> ⚠ **注意**
> ・ 装置は水洗いしないでください。潤滑油等の注油は行わないでください。

ご不明な点や修理に関するご相談は…

- 修理に関するご相談ならびに、お取扱い･お手入れに関するご不明な点は、お買い上げ販売店にご相談ください。

製造元

中央発條株式会社

〒470-0225　愛知県みよし市福田町宮下43番地1
TEL（0561）32－8161　　FAX（0561）32－2302

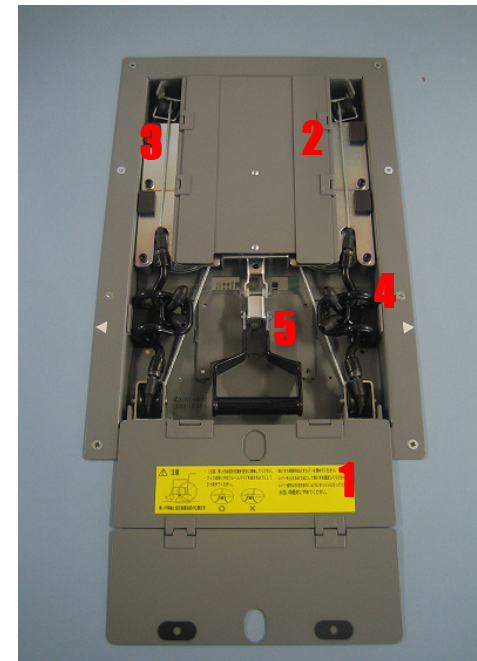
2013-02

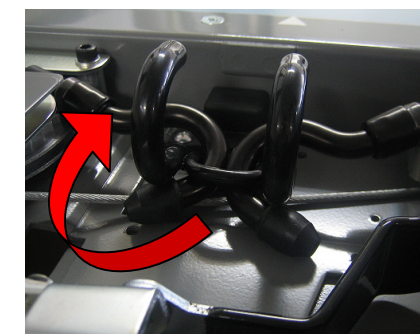
「取扱説明書」
車いす固定装置 型 式 CX011，CX111，CX211

このたびは車いす固定装置をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、必要なときすぐに見られるように大切に保管してください。
なお、改良などのために予告なく製品仕様を変更する場合がありますのでご了承ください。

安全に関する表示

⚠ **警告**　：誤った取扱いをすると、人が死亡または負傷するおそれがあります。
⚠ **注意**　：誤った取扱いをすると、人が負傷したり装置が破損するおそれがあります。

各部のなまえ

1. ふたA　折りたたみ式
2. ふたB　2枚
3. フック付きワイヤー　4本
4. アタッチメント
5. ハンドル
6. ゴム部材

4.アタッチメント収納時詳細写真（右側）

折り返す

ゴム部材に押し込む

必ず守っていただきたいこと

⚠ 警告	・装置を分解、改造しないでください。車いすを正しく固定できず重大な事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意	・車いす固定以外の目的で使用しないでください。 ・装置の上に乗ったり、重い物を置かないでください。故障や変形のおそれがあります。 ・未使用時は必ずふたを閉じてください。人がつまずくおそれがあり大変危険です。 ・装置に水をかけないでください。さびの発生および故障の原因になります。 ・潤滑油等の注油は行わないでください。砂塵が付着し故障の原因になります。

操作のしかた

1 車いすを固定する

①車いすを装置の上に移動させ、ふたA･Bを開ける

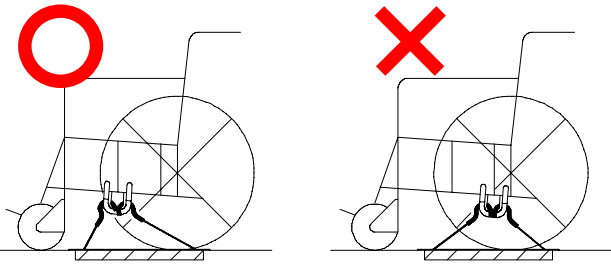
- 車いすを固定装置上の左右均等となる位置に移動させ、図aのように、ふたAの丁番付近の矢印にタイヤ接地面をあわせ、ふたA･ふたBを開けます。
- 車いすのブレーキをかけます。

注意

・車いすは所定位置で固定してください。所定位置以外では、固定が不十分になるおそれがあります。

図a

②アタッチメント（フック付きワイヤー）を車いすに掛ける

- **アタッチメントを引き出し、図bのように車いすの前輪と後輪の中間付近でフレームが交差する位置に内側から掛けます。**
- フック付きワイヤーは、4 本全てが本体内蔵のばねにより巻き取られ、自動的に長さ調整されます。
- 図cのように後輪付近に掛けると、しっかりと固定できないおそれがあります。

図b

図c （車軸に近すぎる）

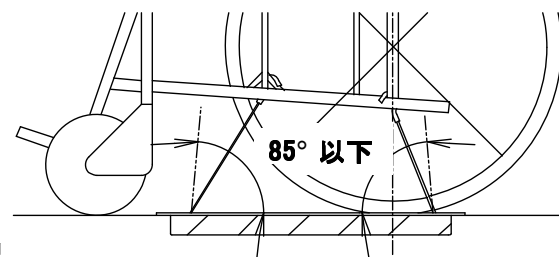
ワンポイント

・車いすの種類によってはアタッチメントが使用できないものがあります。その場合は、右図のようにアタッチメントを外して、フック付きワイヤー4 本全てをフレームに掛けてください。

・アタッチメントの有無に関係なく、ワイヤーの引き出し角度は右図のように 85° 以下となるようにハの字形に掛けてください。

ワイヤーはハの字になるように！

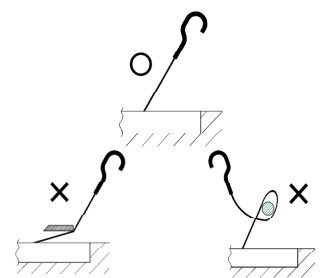
・引き出し角度が85°以上ある場合は、車いすを前後方向に移動し85°以下となるように調整してください。

・付属の目印シールを装置に貼り目安にすると、車いすの位置合わせが簡単に行えます。

注意

・フック付きワイヤーは直線状に車いすに掛けてください。ワイヤーにねじれや干渉があると、早期に劣化･損傷するおそれがあります。

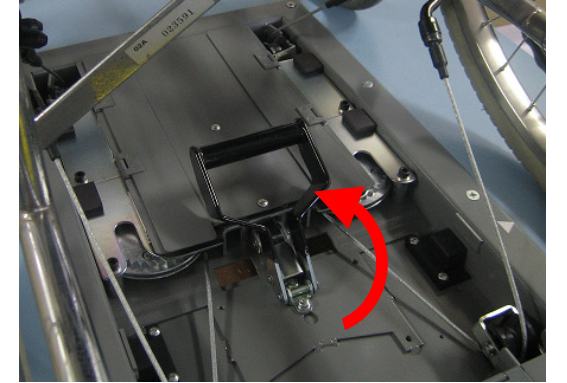
・フック付きワイヤーは 4 本全てを車いすに掛けてください。また、車いす以外のものや、車いすのスポーク等強度が弱い部分には掛けないでください。装置や車いすを破損するおそれがあります。

図d
ワイヤーは直線状に掛けるように！

・ フック付ワイヤーは消耗品のため繰返しのご使用により劣化します。ワイヤーにほつれや素線切れ等の損傷･劣化が確認された場合は、ワイヤーの交換を販売店にご依頼ください。そのままのご使用は装置の故障につながります。また、破損部に触れるとケガをするおそれがあり大変危険です。

③ハンドルを手前から奥へと押し上げ、車いすを固定（ロック）する

- ハンドルが完全に止まる位置まで押し上げます。

注意

・ハンドルを途中で止めた状態では、固定が不完全で、振動などによりハンドルが戻り固定が解除されることがあり大変危険です。

固定操作

④車いすが確実に固定されているかを確認する

- 車いすを前後左右にゆらし、ぐらつかないことを確認します。

ワンポイント

・車いすの固定が緩い時は、固定を解除し再度ハンドルを押し上げてください。

2 車いすの固定を解除する

① ハンドルを手前にたおす

- ハンドルを完全に止まる位置までたおします。（床面と水平位置）

注意

・干渉物などによりハンドルが途中停止した状態では、フック付きワイヤーの固定が解除されません。
・操作の途中で手を離さないでください。力が加わっているため、ハンドルが勢いよくたおれることがあり危険です。

② アタッチメントを車いすからはずす。

- アタッチメントを車いすからはずします。
- アタッチメントを所定の位置へ戻してください。収納部のゴム部材にアタッチメントを押し込むように収納します。

注意

・アタッチメントを車いすからはずす時は、収納するまで手を離さないでください。フック付きワイヤーが勢いよく戻り危険です。